

平成25年10月9日

佐賀新聞掲載～ひびの子育て～

園長子育てコラムvol.2「大切にしたい『まちがう権利』」

ひびの子育て

## 大切にしたい、子どもの「まちがう権利」

「それはダメ!」、「あれはダメ!」—子どもにけがや危険なことがおきないように、つい口にしてしまう言葉ではないでしょうか。もちろん、子どもの安全を守ることは親の役目です。でも、そんな時はひと呼吸おいて自分たちの子どもの時期を少し振りかえってみましょう。

親や先生が見ていないところでやんちゃをしたり、失敗をしたり、間違ったり、いろいろな体験をして、大人へと成長してきませんでしたか?大人の私たちが、時折間違い、失敗しながら成長してきたように、子どもたちにも失敗する権利、「まちがう権利」があります。

「失敗は成功の元」と言われるように、失敗や間違いというものは「こうすればうまくいかないんだ」という成功のための学びです。

子どもは学びたい、遊びたい、成長したいという気持ちを持っています。その証拠に、赤ちゃんは

何度も転びながら「立つ」ことを覚えていきます。しかし、「転ぶ」という失敗がなければ、「立つ」という成功はありえなかったでしょう。人間誰も、間違いもせずいきなり成功することはありません。子どもが失敗してしまったとき、間違ったときにこそ、次につながるチャンスです。

「よかよか、もう1回挑戦してみんしゃい」と見守ってみましょう。失敗は結果ではなく、成功



家族の肖像Ⅱばぶばぶフェスタ2012会場から

までのプロセス。間違いを叱ることよりも、さらに挑戦する心を持たせ、失敗を恐れない子どもを育てる方がよっぽど大切なことです。失敗する前に止めるのではなく、失敗を学びに変えていく子育てができるといいですね。(パパ記者・吉村直記=おへそ保育園園長)